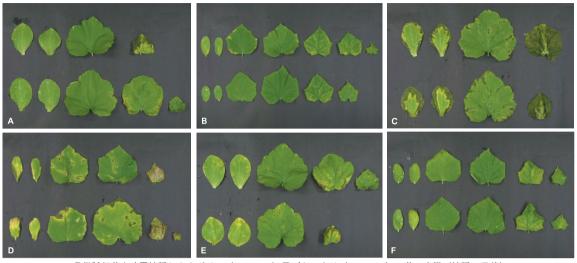
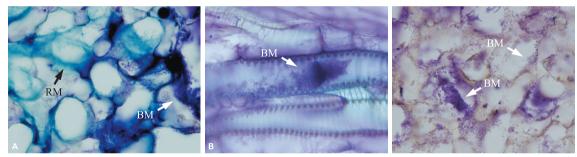
## ウリ科作物の種子健全性検査で分離される 果実汚斑細菌病菌に類似した Acidovorax 属細菌について

(本文7ページ参照)



①供試細菌を噴霧接種したカボチャ(A, C, E) 及びキュウリ(B, D, F) の葉の病徴(接種 4 日後) A, B:分離細菌(KBT029), C, D:*Acidovorax avenae* subsp. *citrulli* MAFF 730196, E, F:*A. avenae* subsp. *avenae* MAFF 301506



②分離細菌(KBT025)を噴霧接種したカボチャの葉の組織学的観察 A:柔組織の細胞間隙に認められる細菌塊 (BM)と植物の反応物質 (RM),

B: 導管内に認められる細菌塊

③ A. avenae subsp. citrulli MAFF 730196 を 噴霧接種したカボチャの葉の組織学的観察 細胞間隙で増殖した細菌塊が全面に認められる

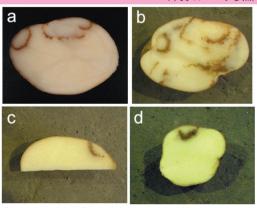
Makizumi et al.(2011)から一部改変して引用 牧住芳之氏原図

## ジャガイモ塊茎褐色輪紋病に対する 抵抗性の品種間差異と粉状そうか病抵抗性との関係

-(本文 11 ページ参照)



①ジャガイモ塊茎褐色輪紋病の病徴(品種 'さやか') 中山尊登氏原図



②ジャガイモ塊茎褐色輪紋病の塊茎内部病徴 a:'さやか', b:'農林1号', c:'メークイン', d:'男爵薯'

## 鹿児島県ならびに茨城県における アルファルファタコゾウムシの寄生性天敵

(本文 21 ページ参照)



① Agrothereutes grapholithae (シンクイトガリヒメバチ)



2 Bathythrix kuwanae



③ Gambrus ruficoxatus (ミイロトガイヒメバチ)



(4) Gnotus hyperae (タコゾウアカヤドリバチ)



(5) Itoplectis alternans (マツケムシヒラタヒメバチ)



6 Scambus rubrigaster (アカハラタコゾウヤドリヒラタヒメバチ)



7 Trichomalopsis shirakii

小西和彦氏原図

## イチゴ小葉を用いたイチゴ 炭疽病菌の簡易病原性判定法

(本文 33 ページ参照)



- ①強病原性菌を接種したイチゴ小葉 (接種2週間後)
  - 注) 矢印で示した部分が形成された病斑



②弱病原性菌株を接種したイチゴ小葉 ③強病原性菌株を接種したイチゴ苗 (接種2週間後)



(接種1ヶ月後)

④弱病原性菌株を接種したイチゴ苗 (接種1ヶ月後)